

市町村名	石垣市							
令和元年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑧	大浜地区歴史遺産活用事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア			
担当部署名	教育部 文化財課	事業実施(予定)年度	平成25~令和元年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり Ⅲ-1-(1)			
事業内容	国指定史跡フルスト原遺跡をはじめとする多様な歴史遺産について市民が学べる機会を確保すると共に観光資源としての活用を図るため、歴史広場の整備を行う。							
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R2年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	R1年度(繰越)	R2年度		
	予算の状況	(a)当初予算額	20,400	—	51,400	—		
		(b)予算現額	39,394	—	51,400	—		
		(c)増減額(b-a)	18,994	—	0	—		
		(d)繰越額	—	38,894	—	50,405		
	A. 計(b+d)		39,394	38,894	51,400	50,405		
	B. 執行済額		0	38,014	0	33,234		
	うち交付金充当額		0	30,411	0	26,586		
	次年度繰越額		38,894	—	50,405	—		
	執行率(%) (B/A)		0.0%	97.7%	0.0%	65.9%		
予算の状況の説明		外構工事について、整備地内における雨水処理方法の見直しにより、設計の変更等が生じたことから、年度内の完了が困難となったため、工事費等を翌年度に繰越した。不用については、工事請負費の執行残等である。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	駐車場、芝生広場の整備の実施		目標	( 実施 )	( )	( )	( )	
			実績	実施				
			目標	( )	( )	( )	( )	
			実績					
達成状況説明	・駐車場整備、芝生広場植栽工事を実施し、大浜地区歴史遺産広場の整備を完了した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R2年度)	
	駐車場、芝生広場の整備の完了		目標	( 完了 )	( )	( )	( )	
			実績	完了				
	【R2成果目標】 地元のエコツーリズム団体や企業OB会等が実施する遺跡見学会の参加者数:200人以上		目標	( )	( )	( 200人 )	( )	( 200人 )
			実績		160人			
	進捗状況説明	地元エコツーリズム団体等による遺跡見学については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により自粛があったものの、地元小学校(2校、約160人)の歴史分野の学習先としての利活用があったことから、歴史広場の整備により、周辺の遺跡等を学べる機会の創出に繋がられている。						

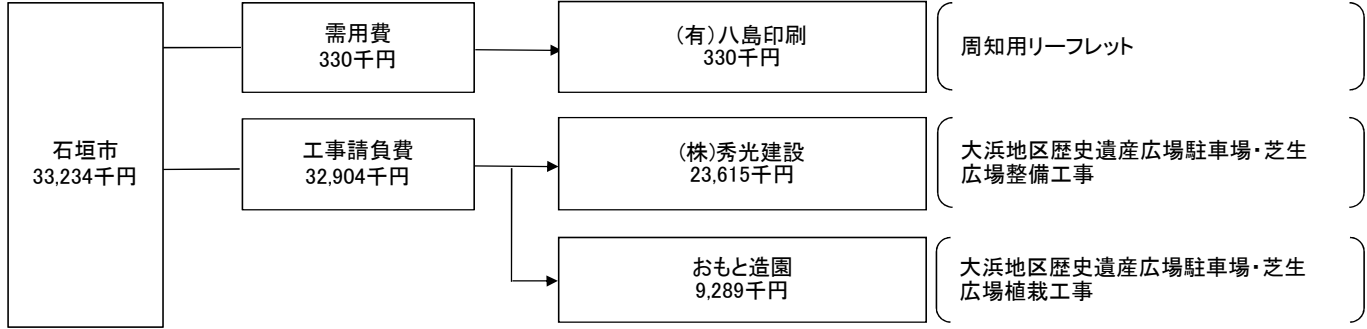
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・地域の遺跡等を新たな観光資源として活用していくためには、地元エコツーリズム団体等を通じた来訪者の増加を図る必要があるものの、コロナ禍からも、当面の間、大幅な増加は見込めないと考えられる。</p>	<p>・遺跡等の見学については、歴史広場の整備により、利便性が向上していることから、引き続き、関係団体をはじめ教育現場等との連携を図り、併せて、歴史遺産の周知に取り組んでいく必要がある。</p>

**今後の取り組み方針**

・多様な歴史遺産を新たな観光資源として活用していくため、関係団体と連携を図るとともに、空港や離島ターミナル、博物館や図書館など観光客が訪れる場所においてリーフレットを配布し、地域の遺跡や歴史広場等に関する情報発信に取り組むこととする。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
33,234	33,234	26,586	6,648	



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事業業者は指名競争入札で選定しており、妥当である。 ○予算規模は必要最小限での構造・規格となっており、妥当と考えている。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市						
令和元年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	旧空港跡地環境影響評価事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ	
担当部署名	建設部 都市建設課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	円滑な都市計画決定、事業認可につなげ、跡地の早期利用を図るため、都市計画決定の要件である沖縄県環境影響評価条例に基づく環境影響評価を実施する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R3年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	56,989	—	35,400	—	
		(b)予算現額	52,446	—	33,165	—	
		(c)増減額(b-a)	▲4,543	—	▲2,235	—	
		(d)繰越額	—	52,446	—	33,165	
	A. 計(b+d)		52,446	52,446	33,165	33,165	
	B. 執行済額		0	52,446	0	24,545	
	うち交付金充当額		0	41,956	0	19,635	
	次年度繰越額		52,446	—	33,165	—	
	執行率(%) (B/A)		0.0%	100.0%	0.0%	74.0%	
予算の状況の説明		補正については、執行残に伴う事業費減額である。また、環境影響評価方法書手続きに関する現況調査において、調査地点の調整等に不足の日数を要したことから、年度内での完了が困難となったため、環境影響評価作業にかかる委託料を翌年度に繰越した。 不用については、業務内容及びスケジュール等の見直しに伴う委託料の執行残である。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	環境影響予測評価及び準備書手続の実施	目標	( 実施 )	( )	( )	( )	
		実績	実施				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	・沖縄県環境影響評価作業にあたっては、沖縄県環境影響評価条例に基づき配慮書、方法書、準備書、評価書の順に作成する必要がある。令和2年度末現在において、準備書(案)の作成を完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R3年度)
	環境影響予測評価及び準備書手続の完了	目標	( )	( 完了 )	( )	( )	( )
		実績		完了			
	【R3成果目標】 旧空港跡地約50haの有効活用	目標	( )	( )	( )	( )	( 約50ha )
		実績					
	進捗状況説明	・環境アセスメントの実施について、方法書に基づく現地調査結果を踏まえ、環境影響評価に係る予測及び総合的な評価を実施し、その結果をとりまとめ準備書(案)を作成した。					

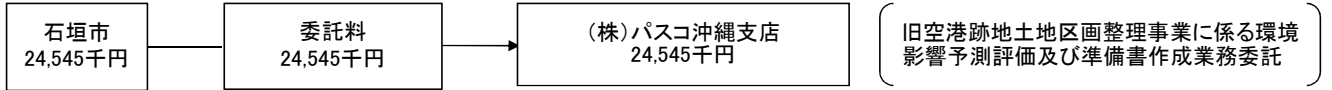
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・空港跡地の土地利用については、土地区画整理事業の都市計画決定が必要であり、その前提となる環境影響評価作業(環境影響評価は配慮書、方法書、準備書、評価書の手順で作成)を完了させる必要がある。 環境影響評価作業は令和2年度末現在で準備書(案)の作成を完了しており、今後は、令和3年度末を予定している都市計画決定に合わせて、評価書の作成まで行う必要がある。</p>	<p>・環境影響の予測評価を踏まえ、沖縄県等関係機関との協議等を緊密に進め、速やかに評価書作成に取り組むとともに、空港跡地と土地区画整理事業導入にあたって実施中の他業務との連携及び協議等を十分に行っていく必要がある。</p>

**今後の取り組み方針**

・令和3年度末予定の都市計画決定に向けて、準備書の公告、縦覧、住民説明会を速やかに進め、沖縄県及び沖縄県環境影響評価審査会との協議を行い、評価書作成に取り組むこととする。併せて、都市計画決定に係る空港跡地土地区画整理事業については、旧空港跡地連絡協議会等の関係機関との調整を十分に行い、本事業と連携して進めていくこととする。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
24,545	24,545	19,635	4,910	0



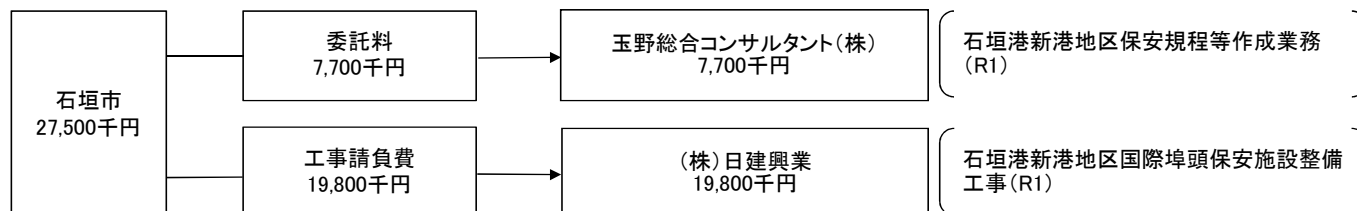
資金の 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託先については、企業組織、実績、知識等を勘察した上で、地方自治法施行令及び石垣市財務規則の規程に基づき、随意契約を締結し、妥当である。 ○予算規模は必要最小限での構造・規格となっており、妥当と考えている。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市									
令和元年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】											
事業番号・事業名	2-② 新港地区国際クルーズ船寄航誘致支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-イ						
	市場特性に対応した誘客活動の展開										
担当部課名	建設部 港湾課		事業実施(予定)年度	平成24~令和2年度		沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)				
事業内容	クルーズ船寄港に対応するため「海上における人命の安全のための国際条約(SOLAS条約)」に基づき、埠頭保安規程の改訂及び保安設備(監視カメラ3台、投光器6台等)の整備を行う。										
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R3年度)										
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )										
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度		H30年度		H30年度(繰越)		R1年度		R1年度(繰越)	
		(a)当初予算額	8,000		124,500		-		117,500		-
	(b)予算現額	8,000		129,500		-		112,610		-	
	(c)増減額(b-a)	0		5,000		-		▲4,890		-	
	(d)繰越額	-		-		25,774		-		27,269	
	A.計(b+d)	8,000		129,500		25,774		112,610		27,269	
	B.執行済額	6,093		92,077		4,296		7,920		19,580	
	うち交付金充当額	4,874		73,661		3,436		6,336		15,664	
	次年度繰越額	0		25,774		-		27,269		-	
	執行率(%) (B/A)	76.2%		71.1%		16.7%		7.0%		71.8%	
予算の状況の説明	<p>補正については、保安施設整備工事に係る執行残に伴う事業費減額である。また、R1年度の不用については、屋根付き歩道整備の仕様等に関して、検討を要する必要性が生じたことから、整備を見合わせたことによるものである。</p> <p>繰越については、国直轄事業による港湾の埋立工事の遅れにより、当市の工事(保安施設整備工事等)が実施できない期間が発生したため、計画期間の見直しの必要性が生じたことから、年度内の完了が困難となったため、保安施設整備工事費等を翌年度に繰越した。繰越後の不用については、保安規程等作成業務委託並びに保安施設整備工事費の執行残によるものである。</p>										
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況									
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度						
	屋根付き歩道の一部整備実施	目標	(一部整備)	(一部整備)	( )	( )					
		実績	未整備	未整備							
	埠頭保安規程の改定実施	目標	( )	(実施)	( )	( )					
		実績		実施							
保安設備の一部整備実施	目標	( )	(一部整備)	( )	( )						
	実績		一部整備								
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋根付き歩道の整備については、導入する製品の仕様等に関して、検討を要する必要性が生じたことから、整備を見合わせる事となった。</li> <li>・埠頭の保安にかかる規程改定及び設備の一部整備を実施し、完了した。</li> </ul>										
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)					
	屋根付き歩道の整備の一部完了	目標	( )	(一部完了)	(一部完了)	( )	( )				
		実績		未整備	未整備						
	埠頭保安規程の改定完了	目標	( )	( )	(完了)	( )	( )				
		実績			完了						
保安設備の整備の一部完了	目標	( )	( )	(一部完了)	( )	( )					
	実績			一部完了							
【R3成果目標】	目標	( )	( )	( )	( )	(80%)					
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋根付き歩道の整備に関しては、当事業での整備を見送ることとした。一方、保安規程の改訂及び設備整備は進んでいることから、国際クルーズ船寄港受入体制の構築に繋げていくことができている。</li> </ul>										

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・インバウンドを推進していくためには、国際クルーズ船の寄港誘致や受入体制の構築を進めて行く必要があるものの、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大により、現在まで寄港がない状況にあり、今後も影響は続くものと考えられる。</p>	<p>・アフターコロナの時代に向けて、残る保安設備の整備を速やかに完了させる必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・国際クルーズ船の受入にかかる保安設備の整備を完了させるとともに、誘致のための情報発信等、積極的な誘致活動を展開していくこととする。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
27,500	27,500	22,000	5,500	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先については、企業組織、実績、知識等を勘案した上で、地方自治法施行令及び石垣市財務規則の規程に基づき、随意契約を締結し、工事事業者については指名競争入札で選定しており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は必要最小限での構造・規格となっており、妥当と考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市					
令和元年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③ 亜熱帯都市公園整備促進事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-ア			
	建設部 都市建設課			事業実施 (予定)年度 平成25~令和3年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	沖縄らしい風景づくり	
担当部課名							Ⅲ-1-(1)
事業内容	市民や観光客等の利便性の確保を図るため、地域文化の象徴でもあり、重要な観光資源の一つでもある石垣市街区公園の整備を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R2年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算の 状況	H30年度		H30年度(繰越)	R1年度	R1年度(繰越)	R2年度
		(a)当初予算額	34,000	—	90,200	—	
		(b)予算現額	34,000	—	108,460	—	
		(c)増減額(b-a)	0	—	18,260	—	
		(d)繰越額	—	29,324	—	69,597	
		A.計(b+d)	34,000	29,324	108,460	69,597	
		B.執行済額	4,677	27,655	38,863	57,022	
		うち交付金充当額	3,741	22,124	31,090	45,618	
		次年度繰越額	29,324	—	69,597	—	
		執行率(%) (B/A)	13.8%	94.3%	35.8%	81.9%	
予算の状況の説明		補正については、設計業務の完了による規模及び導入機能の確定に伴う事業費増額である。また、建築工事における資材(赤瓦)の納期遅延が生じたことから、年度内の完了が困難となったため、工事費等を翌年度に繰越した。不用については、工事請負費の執行残等である。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	あんぐん公園工事の実施		目標 ( 実施 )	( 実施 )	( )	( )	
実績		実績	実績				
達成状況説明	・平成30年度から令和元年度にかけて公園調査設計、公園施設の実施設計を完了し、令和2年度中に公園整備工事、建築・電気・機械工事を完了した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値 (年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値 (R2年度)
	あんぐん公園工事の実施		目標 ( )	( 完了 )	( 完了 )	( )	( )
	実績			完了	完了		
	【R2成果目標】 利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を公園利用者を対象としたアンケートで検証		目標 ( )	( )	( )	( 80% )	( 80% )
	実績					80%	
進捗状況説明	・あんぐん公園の整備については、令和2年8月に整備が完了し、同年8月から供用開始した。同公園の完成により、子どもの居場所づくりや地域の豊年祭及び祭事に活用がなされ、地域住民の満足度の向上に繋げることができた。 ・利便性が確保されたかについては、地域等を対象にアンケートを実施した結果、80%以上の達成率となった。同公園については、市民や観光客等が地域文化を学べる機会の創出を図るため、御嶽の由来などを示した多言語対応の説明板を設置したほか、子どもの居場所づくりなどに寄与できていることなどにより、目標達成に繋がったものと考えられる。						

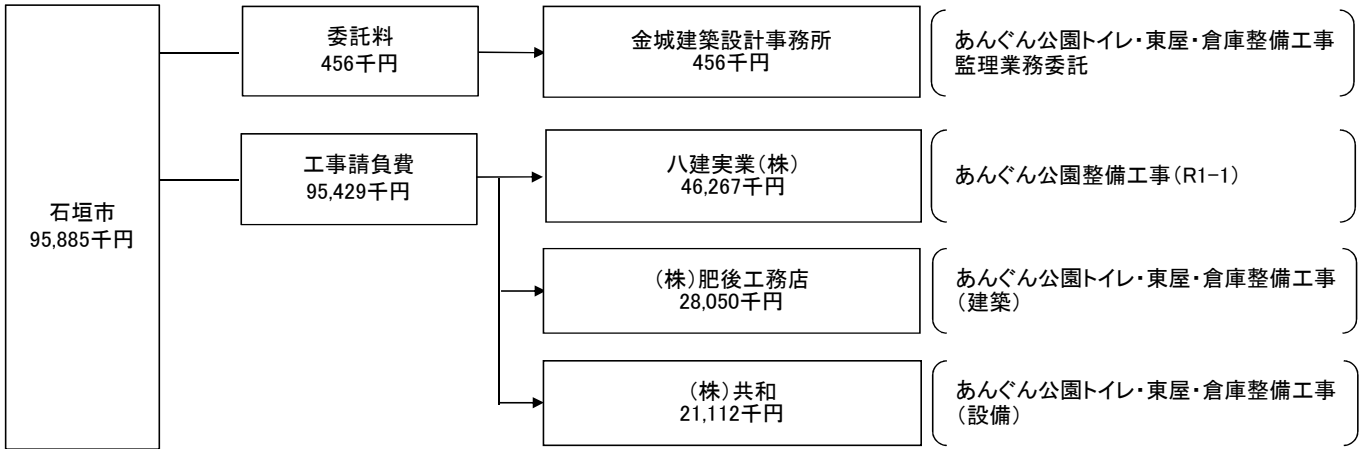
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・あんぐん公園の整備が完了したことにより、市民や観光客等の利便性向上に繋がっているものと見られる。今後は、同公園の利便性を維持していくため、地域と協働して適正な公園管理に取り組んでいく必要がある。</p>	<p>・地域の意見などを十分に踏まえながら、協働で適正な維持管理を行うとともに、良好な緑地の保全を図っていく必要がある。</p>

**今後の取り組み方針**

・市民や観光客等が同公園を快適に利用できるようにするため、御嶽をはじめとする公園内の利用等についての必要な周知に取り組むとともに、適宜、公園の見回りや清掃及び除草など必要な対応を行うこととする。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
95,885	95,885	76,708	19,177	0



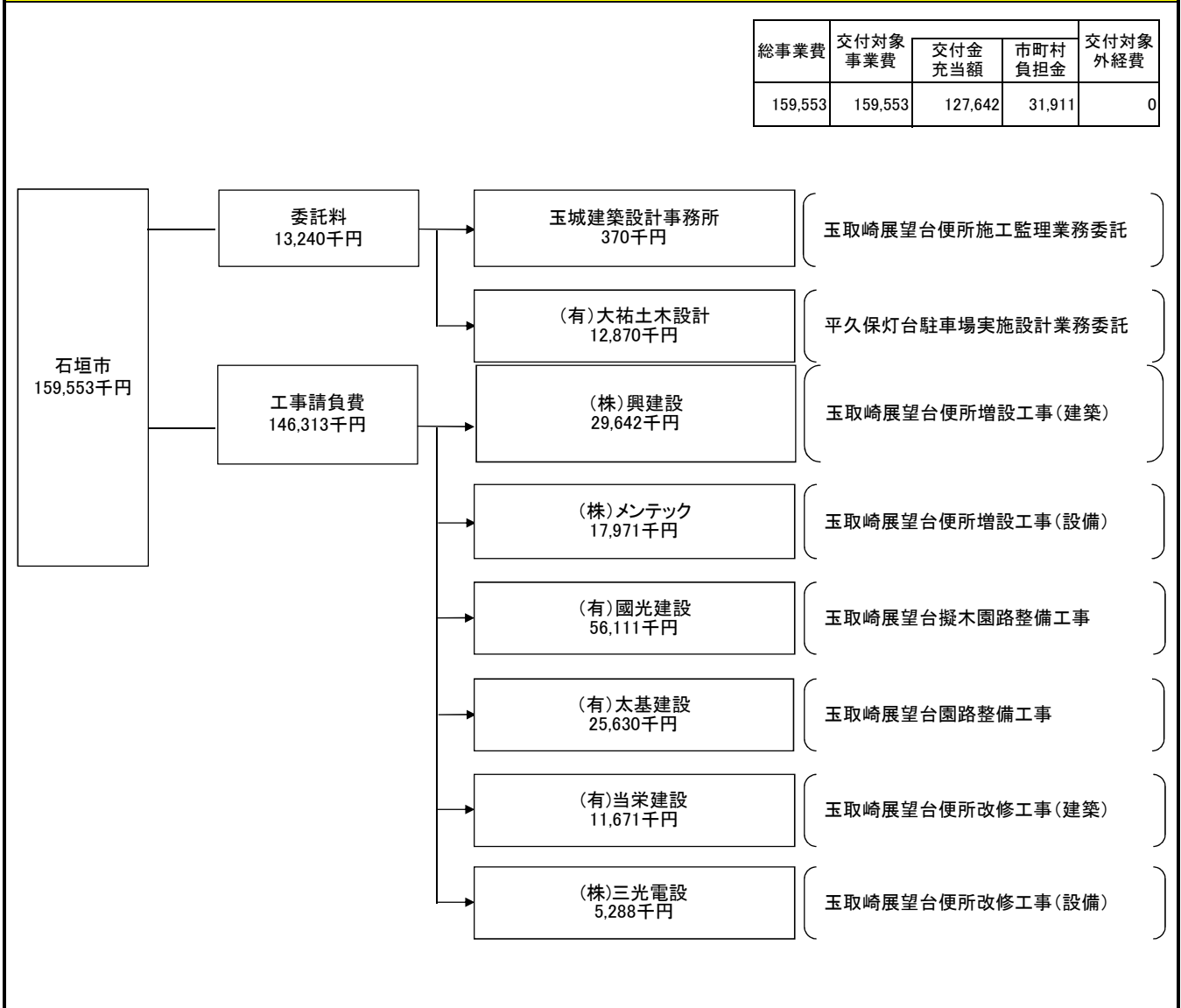
資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先については、企業組織、実績、知識等を勘案した上で、地方自治法施行令及び石垣市財務規則の規程に基づき、随意契約を締結し、工事事業者については指名競争入札で選定しており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は必要最小限での構造・規格となっており、妥当と考えている。
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



市町村名		石垣市					
令和元年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑤ 観光施設及びキャンプ場誘客整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-イ		
	建設部 施設管理課		事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	市場特性に対応した誘客活動の展開		
担当部課名				沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光施設の利用者の利便性を確保するため、玉取崎展望台における便益施設の機能強化及び園路のバリアフリー化の整備を実施する。また、平久保灯台の交通混雑を解消するため駐車場の整備を実施する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R3年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	R1年度	R1年度(繰越)	
	予算の状況	(a)当初予算額	1,897	-		186,286	-
		(b)予算現額	4,643	-		186,286	-
		(c)増減額(b-a)	2,746	-		0	-
		(d)繰越額	-	3,025		-	120,838
		A.計(b+d)	4,643	3,025		186,286	120,838
	B.執行済額		1,618	2,916		39,767	119,786
	うち交付金充当額		1,294	2,333		31,813	95,829
	次年度繰越額		3,025	-		120,838	-
	執行率(%) (B/A)		34.8%	96.4%		21.3%	99.1%
予算の状況の説明		繰越については、平久保灯台駐車場整備に向けた調査業務にあたり、調査対象地の位置及び範囲について、地権者との調整に不測の日数を要したことから、年度内の完了が困難となったため、委託料等を翌年度に繰越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	玉取崎展望台の利便施設及び園路の整備の実施	目標	( 実施 )	( )	( )	( )	
		実績	実施				
平久保灯台駐車場の実施設計の実施	目標	( 実施 )	( )	( )	( )		
	実績	実施					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>玉取崎展望台における便益施設及び園路の整備工事を実施し、完了した。</li> <li>平久保灯台駐車場の整備に向けて実施設計を実施し、完了した。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)
	玉取崎展望台の利便施設及び園路の整備の完了	目標	( )	( 完了 )	( )	( )	( )
		実績		完了			
	平久保灯台駐車場の実施設計の完了	目標	( )	( 完了 )	( )	( )	( )
		実績		完了			
	【R4成果目標】利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該施設のあり方をアンケートで検証する。		目標	( )	( )	( 80% )	( )
進捗状況説明		<ul style="list-style-type: none"> <li>玉取崎展望台の整備が完了したことにより、観光客の混雑解消や利便性の確保に繋げることができた。玉取崎展望台に関しては、整備完了の時期が令和2年度末となったこと、新型コロナウイルス感染症の拡大防止にかかる施設閉鎖等の影響により、アンケート調査が実施できておらず、当該年度内での利便性の把握までには至っていないものの、便益施設及び園路整備を実施したことにより、整備前と比べても、利用者の利便性の確保は出来ていると見受けられる。アンケート調査については、同感染症の影響や入域観光客数の動向などを踏まえた上で、平久保駐車場のアンケートと同時に令和4年度に行う予定である。</li> <li>平久保灯台に関しては、石垣島に訪れる観光客の多くが立ち寄り、市内有数の観光地のひとつであるものの、現駐車場が狭隘であることから、早期に駐車場整備を行い、混雑解消を図り、より多くの観光客の来訪に繋げていく必要がある。実施設計が完了したことから、今後の駐車場整備工事の着手に進めていくことができた。</li> </ul>					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>玉取崎展望台については、観光客の利便性の確保を継続するために、適正な施設管理に取り組む必要がある。</li> <li>平久保灯台駐車場整備に関しては、整備用地の取得があることから、整備工事を早期に着手するために、用地取得に向けて取り組む必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設管理については、同施設の指定管理者と連携を図り、適正な維持管理に取り組む必要がある。</li> <li>平久保灯台駐車場整備の用地に関しては、土地所有者との用地交渉等を継続的に行い、速やかに用地取得を完了させる必要がある。</li> </ul>
	<b>今後の取り組み方針</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>玉取崎展望台の利便性を継続して確保するため、適宜、適正な維持管理を実施していくとともに、当観光地の情報発信を行い、魅力ある観光地のPRを展開していくこととする。</li> <li>平久保灯台駐車場整備の用地取得については、早期に完了させるため、引き続き、土地所有者との用地交渉等に取り組むこととする。</li> </ul>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、企業組織、実績、知識等を勘案した上で、地方自治法施行令及び石垣市財務規則の規程に基づき、随意契約を締結したほか、指名競争入札で選定しており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は必要最小限での構造・規格となっており、妥当と考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市					
令和元年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-① 防災体制整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-2-(4)-イ		
担当部署名	総務部 防災危機管理課		事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化
事業内容	災害時の市民や観光客等の安全を確保するため、令和4年度に無線アナログ放送が終了する防災行政無線設備のデジタル化移行工事を実施し、災害時の情報提供の確保や住民の避難、災害応急対応等の諸活動の円滑化を推進するための仕組みを整備する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R3年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	
		(a)当初予算額	17,050	4,000	149,518	-	
	(b)予算現額	29,925	6,000	149,518	-		
	(c)増減額(b-a)	12,875	2,000	0	-		
	(d)繰越額	-	-	-	85,455		
	A.計(b+d)	29,925	6,000	149,518	85,455		
	B.執行済額	29,762	5,658	55,176	85,455		
	うち交付金充当額	23,809	4,525	44,140	68,364		
	次年度繰越額	0	0	85,455	-		
	執行率(%) (B/A)	99.5%	94.3%	36.9%	100.0%		
予算の状況の説明	繰越については、年度中に全国各地で発生した風水害の被害の影響により、専用の特殊機器等の受注が集中し、機器の納期遅延が生じることから、年度内の完了が困難となったため、工事費等を翌年度に繰越した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	防災行政無線設備デジタル化移行工事の実施(17基)	目標	( 実施 )	( )	( )	( )	
		実績	実施				
	目標	( )	( )	( )	( )		
	実績						
達成状況説明	・防災行政無線設備は、本市沿岸部を中心に設置されており、令和元年度事業では、整備対象34基のうち、17基の整備工事を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R3年度)	
		目標	( )	( 完了 )	( )	( )	( )
	実績		完了				
	【R3成果目標】 平時の防災無線放送が確実に伝達されたか(100%)を、防災行政無線等を活用した避難訓練への参加者に対するアンケートで検証	目標	( )	( )	( )	( )	( 100% )
実績							
進捗状況説明	・防災行政無線設備のデジタル化移行工事については、整備対象34基のうち、17基の整備完了により、残る17基の整備工事の実施に繋げることができた。整備完了した17基は、令和2年5月より順次稼働し、大雨、台風等の災害情報、警報等の周知など、市民及び観光客等への情報伝達として活用できている。						

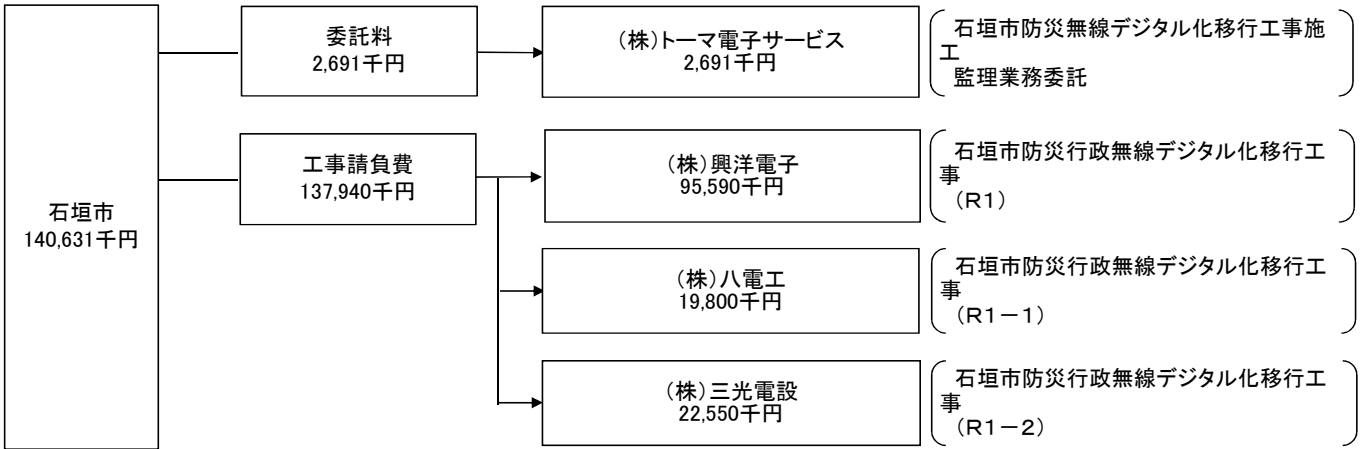
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・防災行政無線設備については、市民及び観光客等に対し、広域かつ迅速に情報の伝達、注意喚起等を図るため、沿岸部を中心に整備しているが、気象条件等の影響も考慮し、よりきめ細かい情報の伝達に取り組む必要がある。</p>	<p>・防災行政無線設備の整備とあわせて、様々な媒体を用いるなど、ソフト面からの情報伝達も検討する必要がある。</p>

**今後の取り組み方針**

・防災行政無線設備の整備については、残る17基を令和2年度事業にて整備することで沿岸部をカバーできる体制となる。当該設備の整備完了と併せて、防災に係る諸施策を実施し、今後の避難訓練等での検証および円滑な避難活動の向上に取り組んでいくこととする。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
140,631	140,631	112,504	28,127	0



資金の流 れ、費 目・ 使途の 点検・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○支出先は指名競争入札で選定しており、妥当である。</p> <p>○予算規模は必要最小限での構造・規格となっており、妥当と考えている。</p> <p>○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	